

CASBEE[®]広島

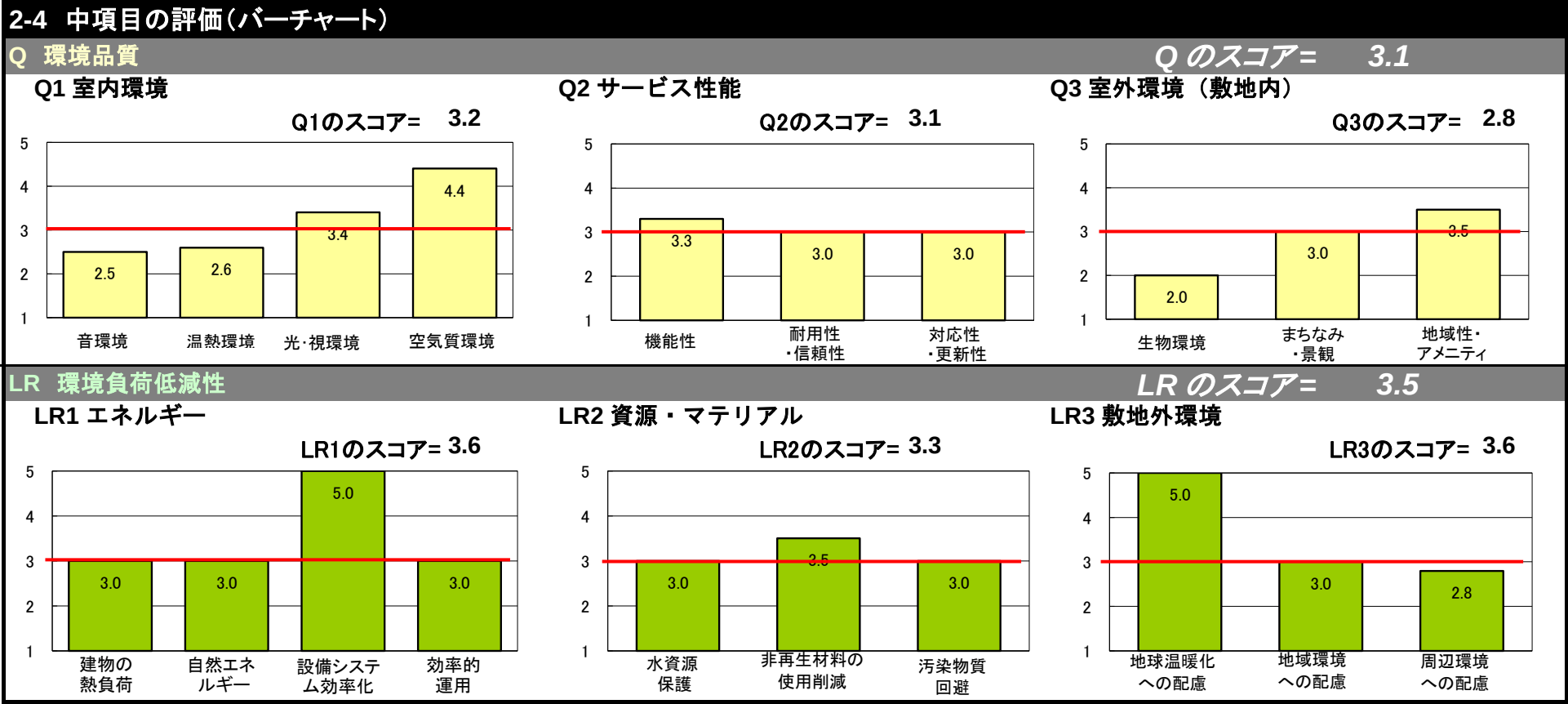
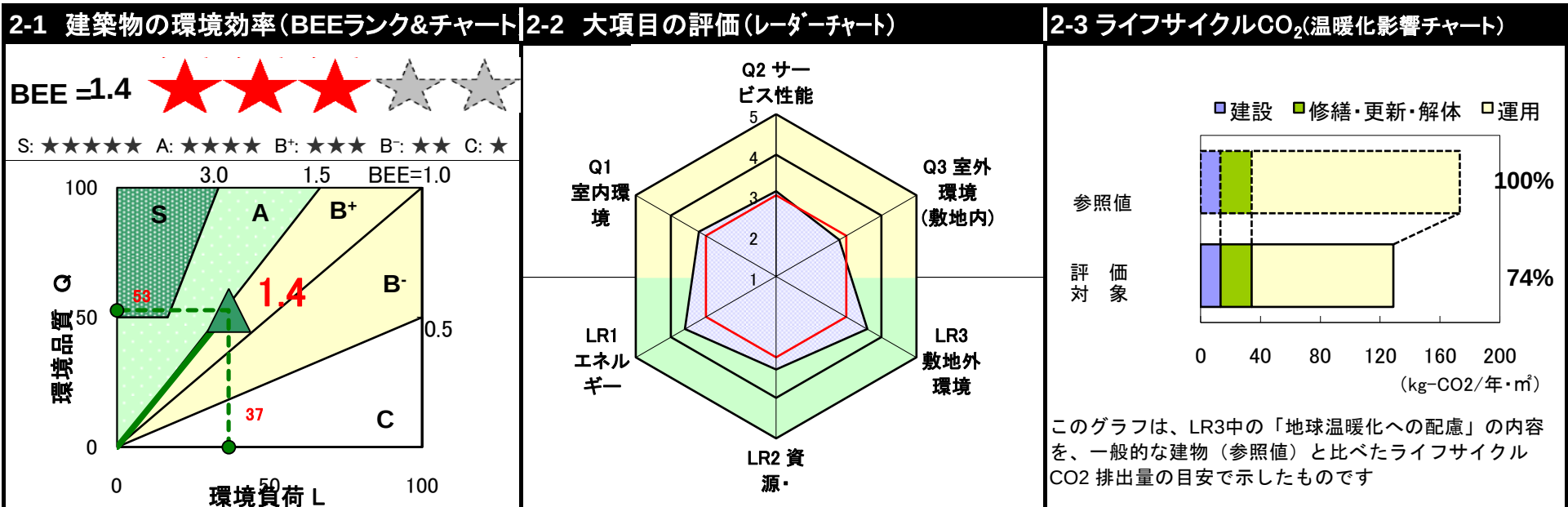
(2010年ver. 1)

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	介護老人福祉施設サンヒルズ広島	階数	地上5F	
建設地	広島市東区中山上一丁目1333、1334、1335番地	構造	RC造	
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	166 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2011年3月17日	
敷地面積	7,877 m ²	作成者	大旗連合建築設計(株) 梶原要介	
建築面積	1,408 m ²	確認日		
延床面積	5,341 m ²	確認者		



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.5		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.7	スコア= 2.8	スコア= 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項
断熱性能の高い外壁・屋根を採用する。/ 太陽光発電を利用する。/ ガス給湯器・照明器具は高効率タイプを採用する。/ 空調・照明設備は集中管理を行う。/ 省水型機器を使用する。/ 可能な限りCO ₂ 排出を削減する。	外構の緑化、屋上緑化により適切な量の緑地を確保する。/ 可能な限り駐車スペースを確保する。送迎バスを実施する。	内装仕上げ材は耐久性がありメンテナンスが容易な材料を、給排水管は耐用年数の長い材料を採用する。/ 可能な限り構造部材を痛めることなく設備の修繕・更新を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される